

唐津市立学校施設耐震化状況一覧

令和5年4月1日現在

唐津市教育委員会 教育総務課

○ 唐津市立学校施設耐震化状況一覧の見方について

No.	学校名	建物名称	建築年	構造	階数	面積 (㎡)	耐震基準	耐震化状況			備考
								優先度調査 (優先度ランク)	耐震診断 (Is値)	補強年度	
1	〇〇小学校	教室棟	H2	W	1	1,500	新基準	—	—	—	
		特別教室棟	S43	R	2	800	旧基準	①	—	—	
		屋内運動場	S43	S	2	630	旧基準	③	—	—	
2	△△小学校	管理棟	S56	R	3	1,592	旧基準	—	0.45	—	
		渡廊下棟	S46	R	3	437	旧基準	—	0.70	—	
		教室棟	S46	R	3	1,958	旧基準	—	0.36	H18	
		屋内運動場	S42	S	2	654	旧基準	⑤	—	—	

校舎等の構造です。
R…鉄筋コンクリート造
S…鉄骨造
W…木造

校舎等の延床面積です。

校舎等の建築された年です。

旧基準…昭和56年以前に建築された建築基準法上旧耐震基準に適合した建物
新基準…昭和57年以降に建築された建築基準法上新耐震基準に適合した建物
※耐震診断が必要とされるのは「旧基準」の建物です。「新基準」の建物については耐震診断は不要であるため「耐震化状況」の各欄を「—」と表示しています。

耐震化優先度調査実施済の建物について優先度ランクを表示しています。(未実施の建物は空欄としています。)
なお平成18年度以前に耐震診断を実施した建物については「—」と表示しています。

耐震診断実施済の建物についてIs値を表示しています。(未実施の建物は空欄としています。)
なおIs値が0.7以上の建物については地震補強が不要であるため「補強年度」を「—」と表示しています。

地震補強実施済の建物について補強年度を表示しています。(未実施の建物は空欄としています。)

○ 用語について

〈耐震化優先度調査〉

どの学校(棟)から耐震診断を実施すべきかという優先度を検討するために実施する調査で、コンクリート強度試験、現地調査等の結果に基づき優先度(緊急度)の高い建物から順に①から⑤までのランク付けをします。本市では平成18年度に実施しました。

〈耐震診断〉

建物が地震に対してどの程度耐えうる力を持っているか(耐震性能)について構造力学上から診断するもので、本市においては1次診断より詳細な評価が可能な2次診断を実施しています。

本診断により算定される「Is値」(構造耐震指標)が0.7を下回った場合、耐震性能不足と判断され、地震補強が必要となります。

〈Is値〉(構造耐震指標)

建物の耐震性能を数値化したもので、値が大きいくほど耐震性能が高いことを表します。

国土交通省ではIs値が0.6以上であれば「地震に対して倒壊または崩壊する可能性が低い」とされていますが、文部科学省では地震時の子どもたちの安全性と被災直後の避難場所としての機能を考慮して、学校施設のIs値を0.7以上とすることとしています。

